

主債務者死亡に伴い、複数の相続人のうちお一人が債務を引き受ける場合にご使用いただく様式です。単独相続(相続人が1名のみ)のケースは、別の様式(委託者の単独相続)をご使用ください。

## 信用保証委託契約変更契約書 (委託者の共同相続に伴う免責的債務引受)

令和 年 月 日  
西暦 ※必ず日付をご記入願います

群馬県信用保証協会 行

※新委託者欄・相続人欄・連帯保証人欄は必ず本人が自署のうえ、実印を押印願います。なお、旧委託者欄は、相続人にてご記入願います。

(新委託者) (相続人)(甲)	住 所		
	氏 名	フリガナ	印
(旧委託者) (被相続人)(乙)	住 所		
	氏 名	フリガナ	
相 続 人	住 所		印
	氏 名	フリガナ	
	住 所		
	氏 名	フリガナ	
連 帯 保 証 人	住 所		印
	氏 名	フリガナ	

相続人全員※のご署名・ご捺印をお願いします。

※但し、新委託者となられる方を除きます。  
相続人かつ連帯保証人である方については、  
本欄および下欄(連帯保証人)の2カ所に、  
ご署名・ご捺印をお願いします。

※また、全員の印鑑証明書・同意書をご添付  
ください。

委託者が交替することについて、既存の連帯保証人が同意している  
ことを本欄より確認します。  
(今回新たに連帯保証人となる方は本欄へのご署名・ご捺印は不要  
です。但し、「信用保証委託契約変更契約書(連帯保証人の加入)」  
のご提出をお願いします。)

当初締結した信用保証委託契約書の右上に記載されている日付をご記入ください。

貴協会の信用保証に基づき旧委託者(乙)が金融機関から下記の借入をした際に、貴協会との間に締結いたしました 年 月 日 付信用保証委託契約書(以下「原契約」といいます。)に関し、年 月 日乙が死亡したことにより、新委託者(甲)が乙の地位を相続分の割合において承継したことに伴い、甲および保証人は貴協会と次のとおり契約を締結いたします。 **旧委託者が死亡した日**

第1条 甲は乙に替わって委託者となり、甲は乙が原契約に基づいて負担していた一切の債務について自己の相続負担部分を認めるほか、他の共同相続人が相続分の割合において承継した委託者の地位についても認め、その相続負担部分全部について免責的に債務引受をし、自己の相続負担部分とあわせ原契約から生ずる一切の債務についてその履行の責を負うとともに、今後原契約から生じる一切の債務について履行の責を負うことを承諾します。

第2条 保証人は、前条の免責的債務引受による委託者の交替を異議なく承認し、原契約から生じる一切の債務につき引き続き、甲と連帯して履行の責を負います。

第3条 この契約に別段の定めのあるもののほかはすべて裏面記載の信用保証委託契約書の各条項が適用されることを承認します。なお、裏面記載の各条項が原契約から変更されている場合は、裏面記載の各条項が適用されるものとします。ただし、原契約あるいは原契約について委託者または保証人を加入させる契約(以下「既存契約」といいます。)により保証人となった者には、裏面記載の第1条第5項、第13条第7項および同条第8項を適用しないものとし、令和2年3月31日以前に成立した既存契約により保証人となった者(以下「改正前保証人」といいます。)にはこれらの条項に加え、第8条第4項を適用しないものとします。また、甲には裏面記載の第1条第5項を適用しないものとし、乙が令和2年3月31日以前に成立した既存契約により委託者となった場合には、第1条第5項に加え、改正前保証人との間に限り第8条第4項を適用しないものとします。

第4条 本契約は貴協会が変更を承諾した日をもって成立するものとします。

融資実行日(貸付始期)を  
ご記入ください。

### 信用保証委託契約書第1条の借入要項による借入

金 融 機 関 名	( 支 店 )
借 入 形 式 (該当項目を○で囲んでください)	1 証書貸付 2 手形貸付(イ 個別 □ 極度) 3 手形割引(イ 個別 □ 極度) 4 当座貸越(イ 貸付専用型 □ 事業者カードローン) 5 電子記録債権割引(イ 個別 □ 極度(手形・電子記録債権両方の割引をきむ))
借 入 ( 割 引 ) 年 月 日 (借入形式が4の場合は、契約締結日)	年 月 日
借 入 金 額	金 円 (現在残高 金 円) (借入形式が2・3・5の口、および4の場合は、極度額)

本書ご記入日時時点の残高を  
ご記入ください。

(契約条項裏面)

融資実行時の貸付金額をご記入ください。

協会使用欄

保証 番号	
----------	--

(令和2年4月)